



風しんの流行にご注意ください！

首都圏で20～40代の男性を中心に風しんの患者数が急増しています。

風しんに罹ったことのない人や幼少期の予防接種以来、追加接種をしていない人は十分にご注意ください。

【風しんの症状】

主に咳やくしゃみによる飛沫感染でうつります。通常2～3週間の潜伏期を経て、まず耳の後ろから首筋にかけてリンパ節の腫れがおこり、続いて発熱、淡い赤色の細かい発疹などが出現します。このような症状がみられたら、すぐに医療機関を受診してください。

【予防接種について】

風しんの特効薬は予防接種ですが、患者数の急増によりワクチンの供給が追い付かず、近隣の医療機関でも接種が困難な状況です。また、厚生労働省は妊婦を守る対策から、優先接種者（妊婦の家族、妊娠の可能性のある女性）を決め、その他の接種の自粛を呼びかけています。

【自分でできること】

- ① 体力がおちないように食事、睡眠を十分に取る。
- ② うがい、手洗いを習慣にする。
- ③ 咳がでる場合はマスクを着用する。